

公開講座の開設主旨・目的等

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターでは、阪神・淡路大震災の後、地域歴史遺産の保全活用、および地域歴史文化の担い手となる人材が育ち、活躍できる環境整備に向けた取り組みを、市民や自治体と連携して推進してきました。本講座は、こうした取り組みの一環として開講するものです。

地域の歴史文化をまちづくりに活用し、次世代に残していくためには、専門家だけではなく、その担い手として、市民が主役になっていく必要があります。そこで、「まちづくり地域歴史遺産活用講座」は、市民のみなさんが、地域歴史遺産について考え、活用するための、基礎的な知識や技術などを学ぶ機会の提供を目指します。

講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
1	10月14日(土)	10:00-10:05	開講挨拶・事務連絡	
2		10:05-11:05	地域歴史遺産活用事例の紹介(60分)	井上 舞 学術研究員
3		11:15-12:15	地域の歴史の見方 古代(60分)	高橋明裕 立命館大学非常勤講師
4		13:15-13:30	参加者自己紹介	
5		13:30-14:30	地域歴史遺産とまちづくり(60分)	奥村 弘 教授
6		14:40-15:40	地域の歴史の見方 中世(60分)	市沢 哲 教授
7		15:50-16:50	地域の歴史の見方 近世(60分)	木村 修二 特命講師
8	10月15日(日)	10:00-11:00	歴史資料取り扱いの基礎 I (60分)	木村 修二 特命講師
9		11:10-12:00	歴史資料取り扱いの基礎 II (50分)	木村 修二 特命講師
10		13:00-14:00	地域の歴史の見方 近現代(60分)	河島 真 准教授
11		14:10-15:20	災害から地域史料を守る(70分)	加藤明恵 歴史資料ネットワーク事務局員
12		15:20-15:50	アンケート記入	
13		15:50-16:50	意見交換会	
14		16:50-17:00	修了書授与・閉講挨拶	